

あきる野市 議会だより

平成24.11.1

NO. **69**

発行／あきる野市議会 編集／議会報編集特別委員会 TEL 558-1111 〒197-0814 あきる野市二宮350



みんなで応援だ（国体リハーサル女子ソフトボール試合会場）

第3回（9月）定例会

平成23年度決算459億円を認定 … P 4

新議長決定・審議結果 … P 2

● **一般質問**

聞いてみたいな、こんなこと（質問者15名） … P 6

● **トピックス**

各協議会の要望活動 … P 14

本会議の様様をインターネットで配信中

くわしくはP15をご覧ください

再生紙を使用しています

新議長決定

平成24年第3回定例会最終日



あきる野市議会 議長
町田 匡志

この度、9月定例会におきまして、議長に選出されました。誠に光栄に存じますとともに、その重責に身の引き締まる思いです。

もとより議会は、二元代表制のもと市民の皆様さまざまな思いや願いを市政に反映させることを目的にしています。少数意見にも真摯に耳を傾けながら、全ての議員が活発な議会活動を通じて市民の皆様の負託に応えられるような円滑な議会運営に努めてまいり所存です。そのためにも市民の皆様の一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

【環境建設委員長の変更】

町田匡志氏から細谷功氏に変更となりました。

【会派代表者の変更と会派の異動】

志清会会長が町田匡志氏から市倉理男氏に変更となりました。澤井敏和議員が志清会に入会しました。

平成24年9月

定例会の概要

9月定例会は、9月4日に開会し、9月26日まで23日間の会期で行われました。

定例会初日の4日から6日までの3日間は、15名の議員による一般質問が行われました。

7日には、市長から提案のあった議案を審議し、補正予算の議決、議案や陳情の委員会付託が行われました。

11日には総務委員会、12日には環境建設委員会及び議会運営委員会、13日には福祉文教委員会が開催され、議案等の審査が行われました。

19日・20日には、決算特別委員会が開催され、平成23年度7会計についての歳入歳出決算の認定について審査が行われました。

最終日の26日には、各常任委員長、議会運営委員長及び決算特別委員長の委員会審査報告などを受けて、質疑・討論の後、採決が行われました。また、議長の辞職が許可され、引き続き選挙を行い、新しい議長が決まりました。

9月定例会で決まったこと

市長提出議案（21件）

「投票の結果、賛成多数で同意」

○あきる野市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

あきる野市固定資産評価審査委員会委員の影山守彦氏が、平成24年11月9日をもって任期満了となるため、後任として堀範子氏を選任するために議会に同意を求めるものです。任期は平成24年11月10日から平成27年11月9日までとなります。

「投票の結果、全員の賛成で同意」

○あきる野市教育委員会委員の任命について

あきる野市教育委員会委員山城清邦氏が、平成24年10月27日をもって任期満了となり、引き続き同委員に任命するため議会に同意を求めるものです。任期は、平成24年10月28日から平成28年10月27日までとなります。

【全会一致で原案を可決】

○あさる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律等の公布に伴い、規定を整備するものです。

○あさる野市公民館の設置及び管理に関する条例

公の施設である公民館の管理を指定管理者に行わせるため、規定を整備するものです。

○あさる野市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

公の施設である秋川体育館の管理を指定管理者に行わせるため、規定を整備するものです。

○あさる野市災害対策本部条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、規定を整備するものです。

○あさる野市下水道条例の一部を改正する条例

下水道法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、規定を整備するものです。

○東京都市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について

東京都市町村公平委員会に稲城・府中墓苑組合を加入させ、また、地方公務員法の改正に伴い、条すれが生じたため、東京都市町村公平委員会共同設置規約の一部を変更するものです。

○東京都市町村議会議員公務災害補償等組合の組織

東京都市町村議会議員公務災害補償等組合に稲城・府中墓苑組合が加入することに伴い、東京都市町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部を変更するものです。

平成24年度補正予算

【全会一致で原案を可決】

○平成24年度あさる野市一般会計補正予算(第2号)

○平成24年度あさる野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

○平成24年度あさる野市介護保険特別会計補正予算(第1号)

○平成24年度あさる野市テレビ共同受信事業特別会計補正予算(第1号)

*補正予算額については下表をご覧ください。

平成23年度決算

【賛成多数で原案を認定】

○平成23年度あさる野市一般会計歳入歳出決算の認定について

○平成23年度あさる野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成23年度あさる野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成23年度あさる野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

【全会一致で原案を認定】

○平成23年度あさる野市戸倉財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成23年度あさる野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成23年度あさる野市テレビ共同受信事業特別会計歳入歳出決算の認定について

*平成23年度決算に関しては、P4、5をご覧ください。

陳情(5件)

【賛成少数で陳情を不採択】

○原発問題に関する陳情

【審議未了】

○10・23通達の順守を求める事に関する陳情

○10・23通達の強化を求める意見書の提出に関する陳情

○公立学校の教職員の政治活動の制限の強化を求める意見書の提出に関する陳情

【賛成多数で陳情を採択】

○市議会議場での国旗掲揚に関する陳情

平成24年度 会計別補正予算額

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(第2号)	304億8380万3千円	4億8133万3千円	309億6513万6千円
特別会計			
国民健康保険(第1号)	85億4963万2千円	5億7761万1千円	91億2724万3千円
介護保険(第1号)	45億1710万3千円	9930万2千円	46億1640万5千円
下水道事業(第1号)	32億7192万円	△1117万3千円	32億6074万7千円
テレビ共同受信事業(第1号)	4374万8千円	16万3千円	4391万1千円

平成23年度決算認定

歳出総額459億円

平成23年度の7会計の歳入歳出決算は、議長・監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、9月19日・20日の2日間にわたり、審査を行いました。決算特別委員会では、活発な質疑や議論を行い、慎重な審査の結果、一般会計決算及び6件の特別会計決算を全て認定しました。

最終日26日の本会議において、決算特別委員長の審査報告の後、各党派による討論が行われ、平成23年度歳入歳出決算の採決で、7会計全てが原案どおり認定されました。



決算特別委員会での採決

一般会計決算に対する討論

反対

日本共産党
あきる野市議団

平成23年度は景気低迷に加え、東日本震災が起こり、厳しい社会情勢が続いた。給与所得が減り、市民の暮らしは大変である。

小中学校の耐震化を前倒しで完了したことは評価する。児童クラブは定員増の予定だが、内容充実も必要である。保育園も定員増が進むが、依然0〜2歳の定員が不足している。足の確保は生活権として優先されるべきで、るのバス増発増便の必要がある。郷土の恵みの森事業は、そもそも土地開発公社の健全化の方策で、28年度には借金返済が、年1億4千万円になる。主力事業とするなら、他事業と連携し、借金を減らす方策を考えるべきである。

秋川高校跡地周辺への企業誘致は、全国各地で同様の失敗例が相次いでいる。福祉施設の充実で、雇用・消費増加を図るべきと考える。

行財政改革の名の下に市民サービスの切捨てを行うのではなく、住民の福祉の増進を図るといふ地方自治体の本旨に基づき、暮らしや医療・福祉に優先して税金を使うべきであった。以上を述べ、反対討論とする。

賛成

志清会

平成23年度は、「絆」と「復興」を合言葉に始まり、本市では白井市長が再選を果たし、市民、地域との協働で作り上げた4年間を更に成長させるために始動した1年であった。

歳入は、景気の浮揚が難しい中、前年度比0.2ポイントの増加で、自主財源の確保は大きな課題であるが、入湯税、庁舎・施設の自動販売機設置場所の貸付収入など、その効果が確実に表れている。財政指標を見ると、市民が将来負担することとなる地方債などの債務が確実に減少しており評価できる。

次に歳出については、小中学校の耐震補強工事が完了し、会派の要望を取り入れた普通教室のエアコン設置事業に着手したことは高く評価する。観光においては、合併15周年事業で製作した「五日市物語」が劇場公開され1万人以上が鑑賞した。また、天皇皇后陛下が五日市郷土館を視察され、五日市憲法草案など、本市の文化財に対する注目度が増している。

市民の安全・安心を第一に、引き続き緊張感をもった行政改革を行うようお願いし、賛成討論とする。

平成23年度 歳入歳出決算額

会計別	予算現額	歳入総額	歳出総額	差引残額 (翌年度繰越)
一般会計	296億4311万円	293億1429万634円	287億4455万6516円	5億6973万4118円
特別会計	国民健康保険	87億6804万8000円	92億4770万6398円	5億1073万919円
	後期高齢者医療	13億4448万1000円	13億5181万8732円	4102万8555円
	介護保険	41億6630万5000円	41億6558万1784円	9726万7010円
	戸倉財産区	1400万2000円	1568万9701円	733万2776円
	下水道事業	30億2204万9000円	30億2893万7383円	29億9774万5361円
	テレビ共同受信事業	8727万円	6820万3531円	6804万215円
合計	470億4526万5000円	471億9222万8163円	459億3375万5298円	12億5847万2865円

賛成

公明党

平成23年は、東日本大震災と原発事故により、市民生活に多大な影響が生じた年であった。23年度の決算状況は、健全化判断比率の改善が進んでいるが、自主財源の確保が大きな課題であると感ずる。今後、社会保障関係費の増加と、防災・減災の観点から、社会資本の老朽化対策について、今からの計画的な取り組みを願うものである。

主な事業では、全小中学校耐震化の完了は、公明党の国や東京都への積極的な働きかけなどで、補助制度が拡充されたことも後押しになったものと自負しているが、市長の計画前倒し実施を大いに評価する。更に、ヒブ・子宮頸がん・肺炎球菌ワクチン予防接種の公費助成が開始されたことを高く評価するものである。

全般的に、3・11大震災後の混乱と社会経済情勢低迷の中、重要課題と市民要望に対応されていると認められ、賛成討論とする。

賛成

政和会

平成23年度決算を概観すると、歳入においては、決算額が29.3億1429万1千円で、前年度に比べて0.8ポイントの減少となっている。歳入の根幹をなす市税については、10.5億7028万6千円で、タバコ税や固定資産税の増加により、収入額は前年比で20.52万8千円の増加となっている。

財政の硬直度を表す経常収支比率は95.5%で、前年より0.6ポイント上昇している。一方で、実質公債比率は8.6から7.6へ、将来負担比率は84.8から76.0へと改善の方向にあると捉えている。また、財政調整基金も9月補正予算で約2億円が追加され、残高が11億4千万円となり、セーフティーネットの充実に近づいたと理解している。

最後に、職員におかれては、限られた厳しい予算の中で、可能な限り市民サービスの低下を回避しながら、英知を結集して事業を展開してきたことに対し最大限の評価をし、敬意を表して、認定の討論とする。

賛成

新風会

歳出について、2点申し述べる。平成25年度は4人に1人が高齢者となる見込みであるが、本市では介護老人福祉施設などの施設整備を促進した結果、要介護者には安心して暮らせる環境が整っている。一方、ひとり暮らしの高齢者が増加するなど厳しい環境にあると言える。今後、高齢者が増加する中で、様々なニーズに対応したサービス環境を整備されることを要望する。

教育施策では、喫緊の課題であった小中学校の耐震補強事業が23年度中に完了し、学校施設の完全性が確保されたことは、大変心強い。また、学校環境を整えるべく小宮小学校の五日市小学校への統合を進めて来られたが、今後は、戸倉小学校についても進められたい。教育現場の問題は、宮林教育長のご指導のもと、他市にさきがけて「特別支援教育」を推進し、17年度から重点施策のひとつとして「いじめ不登校ゼロへの挑戦」を掲げ、「いじめ撲滅三原則」のもと生命尊重の視点にたった指導に感謝する。

賛成

民主党

平成23年度決算は、厳しい財政状況の中、市税の徴収率が95.8%と、前年度比で0.2ポイント増加したことは評価でき、財源確保の努力が伺える。一方、歳出では執行率97%と、前年比0.1ポイント増となっているが、予算計上した事業等が執行されず、8億6千万円も不用額となったことは、あまり望ましいことではない。

また、予備費充用が33件、2126万円余となり、充当先で充当額以上の不用額が出ているのは納得できない。

しかし、我が民主党会派の予算要望のうち、特定健診の心電図検診実施、政府の学校耐震化補助上積み等に合わせ、小中学校耐震化の完了や、千代里会館等の耐震診断、補修工事、保育園・学童保育の定員増、鳥獣被害防止対策などの子算執行もあり、その他緊急雇用創出事業臨時特例補助金1億5186万3千円余を使った、新たな雇用を生み出す事業の実施も大いに評価するものである。

以上をもって、民主党としての賛成討論とする。